

## 山行報告書

京都田辺山友会

報告者 津田憲由

山名	高野三山	山行名	関西百名山			
ルート	奥の院前(787m)—80分—魔尼山(1004m)—50分—楊柳山(1008m) 80分—転軸山(910m)—40分—警察前					
山行日	2014年4月2日	天候	曇り			
参加者	リーダー：津田                      サブリーダー：石橋 男性：園上、広瀬、後藤、坪田、北村、中田、三宅、遊佐、西川 女性：徳田、河野、大林、上田(入会希望者) 合計：15名					
ルート概略図 略	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	一の橋	集		警察前	着	15:20
		発	10:40		発	
	弘法大師廟	着	11:20		着	
		発	11:25		発	
	摩尼山	着	12:04		着	
		発	12:35		発	
	楊柳山	着	13:12		着	
		発	13:20		発	
転軸山	着	14:20		着		
	発	14:25		発		
山行報告						
<p>平成26年度の山行計画のスタートの高野三山でしたので、なんとか成立させたく皆さんに参加のお誘いをお願いしました。</p> <p>参加して頂いた皆様有り難うございます。</p> <p>やすらぎと荘厳をもとめて奥の院の参道を歩みましたが、25年前に参拝して感じた雰囲気は、薄らいでいました。それだけ高野山の一般・大衆化が、良い意味で進んだのでしょうか？桜には、早い季節ですが原始林が残る山道、尾根伝いの急坂もあり、それなりに楽しめたコースでした。</p> <p>高野山奥の院を囲んで、北の楊柳山を主峰とし、東西に摩尼山、転軸山がそびえる。これを高野三山と称している。明治5年まで厳しい女人禁制を守ってきた浄域を今日は、トレッキングです。身も心も清々しく下山しました。</p>						
ヒヤリハット なし						

## 高野三山感想文

坪田 宏

新年度最初の山行である「高野三山」の誘いを受け参加しました。当日の天気は晴れのち曇り、気温は平年並みでまずまずの登山日和となりました。いつもの場所でバスに乗車、参加者は予定より2名少ない15名で、国道24号を南下、車窓から満開の桜を見ながら高野山まで4時間掛けて到着した。

一の橋から樹齢数百年の杉木立がそびえる石畳を歩く。道の両側には多数の墓が点々と続いている。大きな五輪塔は、武田信玄、徳川吉宗、明智光秀、石田光成などの有名な武将や、比較的新しいものには企業や法人、供養塔など各種の墓石が並んでいた。

高野山では宗旨、宗派を超えてお釈迦様の仏弟子として墓所に受け入れてもらえる様だ。

弘法大師御廟では丁度大師の食事が運び出される所に出会った、大師様は今も奥の院に生き続けておられ、世の中の平和と人々の幸福を願っていると信じられているそうだ。奥の院では今日と今後の安全登山を祈願した。

準備運動の後、2班体制で杉林の中、歩き易い道を約1時間で摩尼山(1004m)に到着、ここで昼食。見晴は悪く、早々に次の目的地、楊柳山に向け出発。

植林帯は良く手入れがされていた。山の持ち主は誰かとの話が出た。国、いや個人、多分お寺(高野山)だろうで落ち着いた。

春が早いせい、花や木の新緑は見られなかった、ただ鶯が鳴き始めていた。

楊柳山で記念撮影後、次の目的地である天軸山を目指す。急な木の階段を下り、木橋を渡り、川沿いを滑らないように行くと、右手に杉の大木がある一本杉に出会う、植林帯のなかにあって異様に大きな木で、数本の枝が手の様で、子供の頃に見た映画の1シーンを思い出し、今にも大木が動き出しそうに見えた。

このルートは要所には道標が整備されているので道間違いは無いようだ。林道と登山道が交差する「十字路」道標を見て、最後の登り0.5kmで天軸山に到着、ここも見晴らしは良くない。ここから下りで暫く歩くと民家が見え、天軸山公園の脇を通り、広い通りに出た、後はだらだらと最終目的地の警察まで歩く予定が、途中で迎えに来て貰い、本日の山行は無事終了した。

帰りの車内では、美味しいものを色々頂き、お腹も、気持ちも大満足な一日でした、皆さん有難う御座いました。

